

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 1月 18日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」掛川校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	支援室を衝立で区切り視覚的補助を行ったうえ、指導員が1:1で支援を行っている。	法令およびガイドラインを遵守しているが、校舎全体が狭いので、ボールではなく風船を使って遊ぶなどの対応を行っている。
	②	職員の配置数は適切である	5	0	職員全員が保育士か児童指導員である。	ガイドラインより多い人員を配置している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	4	室内に段差はない。但し、トイレは車椅子対応できる広さがない。	入口前の道路に歩道がなく、入口に段差がある。利用者の目につきにくいように、備品をしまっておく場所があると良い。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	掃除内容を統一し、毎朝決まった手順で清掃・消毒を行っている。	安全面の他、気が散らないように、支援に必要ない物は置かないように心掛けているが、校舎全体が狭い。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	適時ミーティングを行い、情報共有している。	必要に応じて、内部で行っている事例検討会や弊社関係機関の専門家にアドバイスを求め、支援に活かしている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	評価の実施はもちろん、送迎がないため、保護者さんと毎週お会いできる要素を活かし、日々の出来事や課題を聞き取り、支援に取り入れている。	ガイドラインが定める期間で評価表を配布している。ご指摘を受けた内容については、改善につなげるよう努めている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		HPおよび校舎入口に掲示をし、公表している。

	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		設置予定と聞いてはいるが、第三者評価委員会が設置されたか把握していない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	なるべく全員が仕事内容やスキルに合わせた研修に参加できるようにしている。	資料を回覧し、研修や会議に参加できなかった職員にも情報共有ができるように心掛けている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	適時アセスメントを実施し、個別支援計画に反映している。	必要に応じて、個別支援計画の見直しを行っている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	必要に応じて wisc などに利用する道具を使用し、特性を把握できるように努めている。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	アセスメントや、日々の支援時に保護者から情報・困りごとなどを聞き取り、優先順位を定めて計画を立てている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	支援準備の際など、常に計画を見ることができるようになっている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	集団活動の内容は指導員全員で決め、準備・支援を行っている。必要に応じて弊社他事業所での成功例を参考にし、利用者の特性に合わせたプログラムを常に実施できるようにしている。	個別支援は 1 : 1 で行っているが、毎回の申し送り時に保護者から聞いた内容は、必ず次回支援者に伝えると共に、複数の指導員の意見を支援に活かし、内容が偏らないように心掛けている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0		どの指導員が支援に入っても支援の質が変わらないよう、内部初任者研修以外にも支援の質を高められる外部研修に参加するなど、

					指導員全員のスキルを上げ、固定化を防いでいる。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5	0	マンツーマン療育の特性上、個別活動が中心だが、毎月の祝日に希望者を募り、集団活動を行っている。	保護者の要望を聞き取り、個々の状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2	適時打合せを行っているが、支援時間によっては打合せを行うのが難しい日がある。	小回りの効く人数かつ職員全員がフルタイムである利点を活かし、リアルタイムで情報の伝達を行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	勤務時間と支援時間の兼ね合いで、支援終了後の打ち合わせは難しい。	小回りの効く人数かつ職員全員がフルタイムである利点を活かし、リアルタイムで情報の伝達を行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	支援後には必ず記録を取り、次回担当者が支援に活かせるようにしている。	ガイドラインに従い、日々の支援記録も鍵のかかる場所で保管している。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	ガイドラインに従い、半年ごとにモニタリングを実施、個別支援計画に反映している。	支援に入ることが多い指導員が中心となってアセスメントを行っている。作成した個別支援計画は担当指導員が確認し、内容が偏らないようにしている。
関係機関や保護者との連携関係機	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	最もふさわしい者が参加するよう勤務調整を行っているが、状況により次に精通している者の参加になる時があった。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	保護者の要望に応じて、事業所内相談や関係機関と連絡を密にし、連携をとっている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	5		対象外

関 や 保 護 者 と の 連 携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	5		対象外
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	5	保護者や園の希望に従い、行っている。	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	5	保護者や園の希望に従い、行っている。	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	5	他の事業所との併用を市が認めていないため、連携はないが、弊社子会社の専門家や、	掛川市や近隣の市が他の児童発達支援事業所などの併用を認めていない。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	5		現状行えていない。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	0	職員が自立支援協議会の会議に参加している。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	支援後、同席された保護者さんに支援内容の報告を行い、園や家などの様子も聞き取り、支援に活かしている。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	5		現状行えていない。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	「重要項目説明書」に詳細を記載し、契約時に説明を行っている。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	契約時に説明を行い、同意を得ている。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	0	5		現状行えていない。

	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	「きらりカフェ」（保護者会）を不定期開催している。	今年度は行えていない。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	保護者から相談があった時は対応している。 必要に応じて、相談支援事業所や、セルフプランの利用者は直接、園へ連絡し、連携を行っている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0	5	行事予定を入口に掲示すると共に、全員へおたよりを出している。	会報等の発行は行っていない。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	個人情報の書かれた資料やパソコンなどは、鍵の掛かる場所で校舎保管し、持ち出しも制限している。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	特性に応じて、絵カードやマカトンサインなどを利用している。 また、外国籍の保護者に対して、書類に母国語やふりがなをつけている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		現状行えていない。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	避難先などは契約時に配布・説明し、入口にも掲示している。 各種マニュアルは、いつでも自由に閲覧できる状態にしている。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	毎月、様々な場面を想定した避難訓練を実施し、利用者や保護者の参加をお願いしている。	

				結果は入口に掲示し、公表している。	
④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	契約時だけでなく、新年度ごとに保護者全員へ聞いている。	
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	契約時だけでなく、新年度ごとに保護者全員へ聞いている。	食事提供は基本的に行っていないが、グループ活動などで市販のおやつを提供するなどの場合には、提供前に都度参加者全員にアレルギーの有無を確認している。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	報告書を作成し、回覧している。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	毎年研修を行っている	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	ガイドラインを作成している。 「重要項目説明書」に詳細を記載し、契約時に説明を行っている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年 1月 18日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」掛川校

保護者等数（児童数）： 9 回収数： 4 割合： 44 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1	3	0		小集団など、活動内容によっては狭い時がある	校舎全体が狭いですが、安全に気を付けた上で、スペースが確保できるように努めます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	4					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		2	1		
保護者への説	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3	1				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4					

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	1	1			
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2	2				
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2				
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4				園や家で得意なこと、不得意な事に耳を傾けて、活動内容にうまく入れてもらっている。	指導員の励みになる意見をいただき、ありがとうございます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1	1		2		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	4					
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3			1	色々な状況に対応していると思う。	訓練にご参加いただき、ありがとうございました。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3			1		
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	4				毎回、お楽しみを何にしようと期待して通っている。	これからも、利用者の皆さんが楽しみに通ってくださるよう、頑張ります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	4					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。